

# 東北復興支援とウッドデッキ製作と 地域における交流拠点づくりについて

## ☆東北復興支援☆

今年度で3年目となる取り組みです。昨年、好評であったミニキッチンを製作し、宮城県石巻市の相川保育所と井内保育園に届けました。支援を始めた3年前のがれきが残る状態から、現在も盛土ばかりの町を見ると復興はまだ先のことに感じました。しかし、地元の漁師さんなどの話を聞くと、前を向いて夢を持って新しいことに挑戦しているという話もあり、救われた気持ちになりました。

震災から5年が経過し、今回交流した園児たちの中には直接的に震災を知らない子もいます。私たちは被災者ではありませんが、支援を通じて震災を知るものとして、これからもできることがあるように思います。

## ☆ウッドデッキ製作☆

本校図書館の南側に、外でもくつろいで読書できるようなウッドデッキを製作しました。

地面をならし基礎が置けるようにする→木材に防腐剤を塗り仕上げの塗料を塗る→外枠をつくり束を立て固定する→根太を入れる→床板をつける。

最初は簡単に考えていましたが、高さがうまく取れず、丁張をかけ直しました。今年は予定の半分をつくったので、来年度はもう半分をつくってくれるとうれしいです。



## ☆地域における交流拠点づくりについて☆

笠松町まちづくりびと講座に参加したことをきっかけに、笠松町地域創生加速化交付金事業の補助を受け、岐阜工業高校生と地域住民との情報交流の拠点づくりに取り組みました。

学校の正門前にある岡本食品さんに場所提供をしていただけることになりました。その場所を自分たちの手でリフォームし環境を整え、地域の方や高校生の集う場所として使ってもらえるようにしたい。その中で情報交換などの交流が広がるようにしていきたいということになりました。まちづくり講座の皆さんには、サポート役として高校生を支えていただきました。作業にも多くも皆さんがお手伝いしてくださり、感謝しています。

講座を受けた当初とは予定が変更になるなど活動の難しさを感じることもありました。講座のみなさんや笠松町と連携して進めることができ良かったと思います。この場所が効果的に使われるように後輩に引き継いでほしいと思います。

